

データヘルス計画

第3期計画書

最終更新日：令和6年11月26日

サクサ健康保険組合

STEP 1-1 基本情報

組合コード	26035
組合名称	サクサ健康保険組合
形態	単一
業種	機械器具製造業

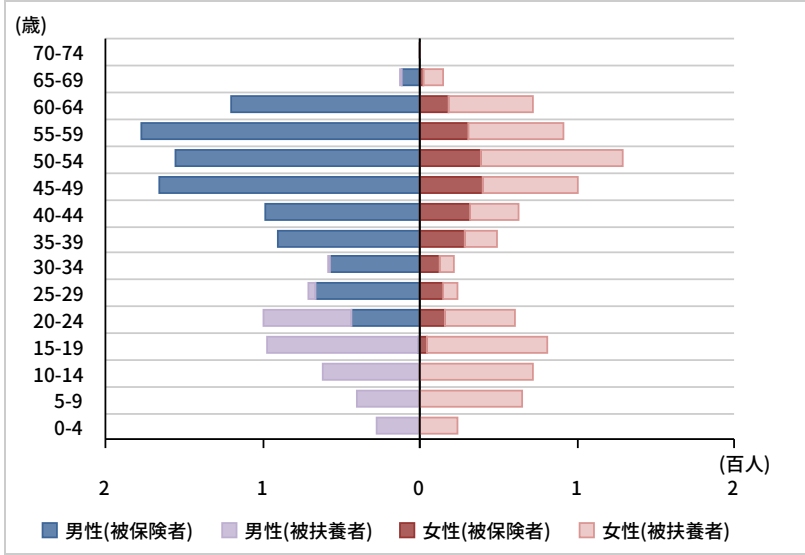
	令和6年度見込み	令和7年度見込み	令和8年度見込み
被保険者数 * 平均年齢は 特例退職被保険者を除く	1,193名 男性71.5% (平均年齢46.5歳) * 女性28.5% (平均年齢43.8歳) *	-名 男性-% (平均年齢-歳) * 女性-% (平均年齢-歳) *	-名 男性-% (平均年齢-歳) * 女性-% (平均年齢-歳) *
特例退職被保険者数	0名	-名	-名
加入者数	2,154名	-名	-名
適用事業所数	6カ所	-カ所	-カ所
対象となる拠点数	15カ所	-カ所	-カ所
保険料率 *調整を含む	96.7% ^{〇〇}	-% ^{〇〇}	-% ^{〇〇}

		健康保険組合と事業主側の医療専門職					
		令和6年度見込み		令和7年度見込み		令和8年度見込み	
		常勤(人)	非常勤(人)	常勤(人)	非常勤(人)	常勤(人)	非常勤(人)
健保組合	顧問医	0	0	-	-	-	-
	保健師等	1	0	-	-	-	-
事業主	産業医	0	0	-	-	-	-
	保健師等	0	0	-	-	-	-

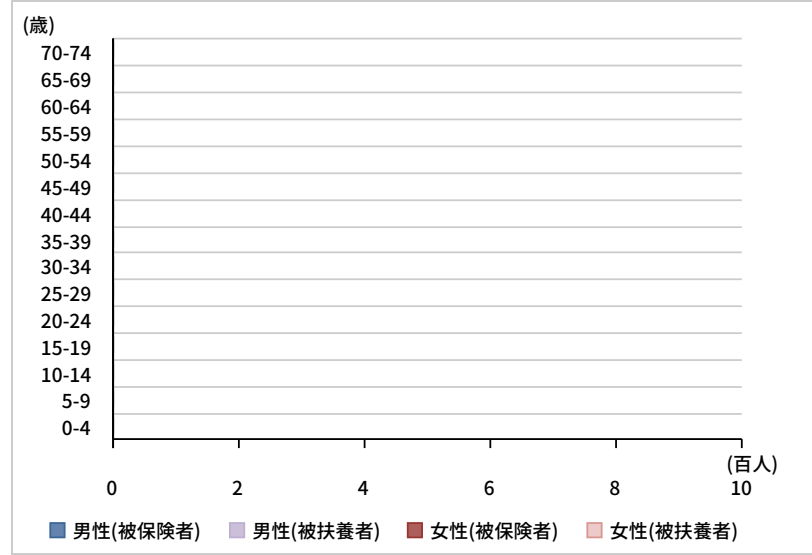
		第3期における基礎数値 (令和4年度の実績値)	
特定健康診査実施率 (特定健康診査実施者数 ÷ 特定健康診査対象者数)	全体	1,071 / 1,200 = 89.3 %	
	被保険者	863 / 879 = 98.2 %	
	被扶養者	208 / 321 = 64.8 %	
特定保健指導実施率 (特定保健指導実施者数 ÷ 特定保健指導対象者数)	全体	45 / 197 = 22.8 %	
	被保険者	45 / 172 = 26.2 %	
	被扶養者	0 / 25 = 0.0 %	

		令和6年度見込み		令和7年度見込み		令和8年度見込み	
		予算額(千円)	被保険者一人 当たり金額 (円)	予算額(千円)	被保険者一人 当たり金額 (円)	予算額(千円)	被保険者一人 当たり金額 (円)
保健事業費	特定健康診査事業費	1,506	1,262	-	-	-	-
	特定保健指導事業費	492	412	-	-	-	-
	保健指導宣伝費	2,350	1,970	-	-	-	-
	疾病予防費	15,118	12,672	-	-	-	-
	体育奨励費	23	19	-	-	-	-
	直営保養所費	0	0	-	-	-	-
	その他	0	0	-	-	-	-
	小計 …a	19,489	16,336	0	-	0	-
経常支出合計 …b	759,145	636,333	-	-	-	-	
a/b×100 (%)	2.57		-	-	-	-	

令和6年度見込み



令和7年度見込み



令和8年度見込み



男性（被保険者）

令和6年度見込み				令和7年度見込み				令和8年度見込み			
0～4	0人	5～9	0人	0～4	-人	5～9	-人	0～4	-人	5～9	-人
10～14	0人	15～19	1人	10～14	-人	15～19	-人	10～14	-人	15～19	-人
20～24	43人	25～29	66人	20～24	-人	25～29	-人	20～24	-人	25～29	-人
30～34	57人	35～39	90人	30～34	-人	35～39	-人	30～34	-人	35～39	-人
40～44	98人	45～49	166人	40～44	-人	45～49	-人	40～44	-人	45～49	-人
50～54	156人	55～59	177人	50～54	-人	55～59	-人	50～54	-人	55～59	-人
60～64	120人	65～69	12人	60～64	-人	65～69	-人	60～64	-人	65～69	-人
70～74	0人			70～74	-人			70～74	-人		

女性（被保険者）

令和6年度見込み				令和7年度見込み				令和8年度見込み			
0～4	0人	5～9	0人	0～4	-人	5～9	-人	0～4	-人	5～9	-人
10～14	0人	15～19	4人	10～14	-人	15～19	-人	10～14	-人	15～19	-人
20～24	16人	25～29	15人	20～24	-人	25～29	-人	20～24	-人	25～29	-人
30～34	13人	35～39	28人	30～34	-人	35～39	-人	30～34	-人	35～39	-人
40～44	32人	45～49	40人	40～44	-人	45～49	-人	40～44	-人	45～49	-人
50～54	39人	55～59	31人	50～54	-人	55～59	-人	50～54	-人	55～59	-人
60～64	18人	65～69	2人	60～64	-人	65～69	-人	60～64	-人	65～69	-人
70～74	0人			70～74	-人			70～74	-人		

男性（被扶養者）

令和6年度見込み				令和7年度見込み				令和8年度見込み			
0～4	28人	5～9	40人	0～4	-人	5～9	-人	0～4	-人	5～9	-人
10～14	62人	15～19	96人	10～14	-人	15～19	-人	10～14	-人	15～19	-人
20～24	56人	25～29	5人	20～24	-人	25～29	-人	20～24	-人	25～29	-人
30～34	1人	35～39	0人	30～34	-人	35～39	-人	30～34	-人	35～39	-人
40～44	0人	45～49	0人	40～44	-人	45～49	-人	40～44	-人	45～49	-人
50～54	0人	55～59	0人	50～54	-人	55～59	-人	50～54	-人	55～59	-人
60～64	0人	65～69	1人	60～64	-人	65～69	-人	60～64	-人	65～69	-人
70～74	0人			70～74	-人			70～74	-人		

女性（被扶養者）

令和6年度見込み				令和7年度見込み				令和8年度見込み			
0～4	24人	5～9	65人	0～4	-人	5～9	-人	0～4	-人	5～9	-人
10～14	72人	15～19	77人	10～14	-人	15～19	-人	10～14	-人	15～19	-人
20～24	44人	25～29	9人	20～24	-人	25～29	-人	20～24	-人	25～29	-人
30～34	9人	35～39	21人	30～34	-人	35～39	-人	30～34	-人	35～39	-人
40～44	31人	45～49	61人	40～44	-人	45～49	-人	40～44	-人	45～49	-人
50～54	90人	55～59	61人	50～54	-人	55～59	-人	50～54	-人	55～59	-人
60～64	54人	65～69	13人	60～64	-人	65～69	-人	60～64	-人	65～69	-人
70～74	0人			70～74	-人			70～74	-人		

基本情報から見える特徴

①情報通信システム機器の開発・製造・販売を行う会社

②加入者の構成割合では、男女共に40歳以上の加入者が全体の7割を占め、高齢化が進んでいる。

STEP 1-2 保健事業の実施状況

保健事業の整理から見える特徴

事業の一覧

職場環境の整備	
加入者への意識づけ	
保健指導宣伝	医療費通知書発行
保健指導宣伝	育児雑誌の配布
保健指導宣伝	機関誌発行
保健指導宣伝	ジェネリック医薬品差額通知の送付
保健指導宣伝	Pep Up
個別の事業	
特定健康診査事業	特定健診
特定保健指導事業	特定保健指導
疾病予防	生活習慣病健診
疾病予防	人間ドック
疾病予防	婦人科検診
疾病予防	主婦健診
疾病予防	被扶養者健診
疾病予防	インフルエンザ予防接種補助
疾病予防	受診勧奨
疾病予防	健康相談医師紹介サービス
疾病予防	禁煙治療費補助
体育奨励	体育奨励
事業主の取組	
1	定期健康診断
2	雇入時の健康診断
3	特例健診
4	産業医による個別面談
5	新入社員に対する労働安全衛生教育
6	メンタルヘルスセミナー

※事業は予算科目順に並び替えて表示されています。

予算科目	注1)事業分類	事業名	事業目標	対象者				事業費(千円)	振り返り			注2)評価
				対象事業所	性別	年齢	対象者		実施状況・時期	成功・推進要因	課題及び阻害要因	
職場環境の整備												
加入者への意識づけ												
保健指導宣伝	8	医療費通知書発行	【目的】医療機関等からの医療費請求の確認 【概要】毎月の医療費状況(全数通知)を医療費のお知らせとして、メールまたは事業所経由で配付することにより医療費に対する意識を高めてもらう。	全て	男女	18～74	基準該当者	0	【令和5年度実績】 ・PepUp:月平均453件	・自己負担額だけではなく、組合負担額を明記することで、健康維持への意識付けを図る。	Pep Up登録率の向上	5
	8	育児雑誌の配布	【目的】育児に関する情報を発信することにより、不安を解消してもらう。 【概要】育児雑誌「赤ちゃん!」を送付	全て	男女	18～50	基準該当者	118	【令和5年度実績】 ・赤ちゃん! : 11名 ・ラシタス:対象者無し	・育児雑誌の活用率は高く、評判も良い。	・閲覧率を把握して健康維持への意識付けを図る。	5
	5	機関誌発行	【目的】情報発信 【概要】組合の事業計画、財政状況等の広報および健康情報等の提供。	全て	男女	18～74	被保険者	1,109	【令和5年度実績】 ・春号:1,226部 ・秋号:1,227部 ・合計:2,453部	・健康保険制度の概要、法改正、事務手続き、各事業の案内等、タイムリーな情報提供。 ・予算、決算等組合の現状を掲載することで組合運営への理解度を推進・自宅への郵送。	・実際の閲覧率が不明	5
	7	ジェネリック医薬品差額通知の送付	【目的】薬剤費削減 【概要】ジェネリック利用促進通知の送付等	全て	男女	0～74	基準該当者	30	【令和5年度実績】 ・138名に送付 ・ジェネリック薬:80.4%使用(平均) ・薬剤費723千円削減 ※郵送案内分のみ効果測定	・ジェネリック医薬品についての啓蒙により、安くて安全な薬との理解。	Pep Upでの効果測定の実施	-
	2	Pep Up	【目的】 【概要】	全て	男女	0～74	被保険者	1,446	【令和5年度実績】 年度末(3月)登録者率 56.3%	Pep Up機能を通じて、毎月医療費通知を配信した。	登録率が伸び悩んでいる。	4
個別の事業												
特定健康診査事業	3	特定健診	【目的】特定健診の受診率向上、加入者の健康維持。 【概要】メタボリックシンドロームに着目した健康状況の把握。	全て	男女	40～74	加入者全員	1,945	【令和5年度実績】 ≪対象者≫:1,184名 ≪受診者≫:1,064名 ≪受診率≫:89.9%	・対象者へ健診案内を送付し周知。 ・被保険者や機関誌などで健診結果の提出依頼を周知。	・受診率向上と更なる周知活動。	4
特定保健指導事業	4	特定保健指導	【目的】特定保健指導の実施率向上、生活習慣病リスク保有者の生活習慣、健康状態の改善。 【概要】メタボリック・シンドロームの減少を目的に、保健指導を実施。	全て	男女	40～74	基準該当者	1,499	【令和5年度実績】 ・動機付 ≪対象者≫76名 ≪実施者≫21名 ≪実施率≫27.6% ・積極的 ≪対象者≫112名 ≪実施者≫24名 ≪実施率≫21.4% ・合計 ≪対象者≫188名 ≪実施者≫45名 ≪実施率≫23.9%	・対象者へ受診の効果説明。 ・対象者には、職場上司からの受講の催促。	・例年、対象者が固定傾向にある。	2
疾病予防	3	生活習慣病健診	【目的】生活習慣病の早期発見・早期治療により、重症化を予防する。 【概要】35歳以上の被保険者を対象として事業主と共同で生活習慣病健診を実施。	全て	男女	35～74	被保険者	9,251	【令和5年度実績】 ≪対象者≫:1,023名 ≪受診者≫:834名 ≪実施率≫:81.5% ※生活習慣病健診+人間ドックの受診率:97.8%	・母体企業とのコラボにより高い受診率を維持している。 ・就業時間内に巡回車による実施。	・受診率100%に向け、事業主との検討が必要	4
	3	人間ドック	【目的】生活習慣病の早期発見・早期治療により、重症化を予防する。 【概要】35歳以上の被保険者を対象とした人間ドックの補助	全て	男女	35～74	被保険者	2,000	【令和5年度実績】 ≪対象者≫:1,034名(任継11名含む) ≪受診者≫:168名 ≪実施率≫:16.2% ※生活習慣病健診+人間ドックの受診率:96.7%	・補助金の支給 ・健診機関の選択肢の設定	・有所見者が再検査を受診しているかどうかのフォローが課題。	4

予算科目	注1) 事業分類	事業名	事業目標	対象者			事業費(千円)	振り返り			注2) 評価	
				対象事業所	性別	年齢		対象者	実施状況・時期	成功・推進要因		課題及び阻害要因
	3	婦人科検診	【目的】子宮がん、乳がんの早期発見 【概要】子宮がん検診、乳がん検診の費用補助	全て	女性	20～74	被保険者	1,200	【令和5年度実績】 ≪対象者≫：236名 ≪受診者≫：148名 ≪受診率≫：62.7%	・補助金の支給 ・健診機関の選択肢の設定	・有所見者が再検査を受診しているかどうかのフォローが課題。	4
	3	主婦健診	【目的】被扶養配偶者(妻)の健康保持・増進 【概要】主婦健診の費用補助	全て	女性	20～74	被扶養者	8,881	【令和5年度実績】 ≪対象者≫347名 ≪受診者≫206名 ≪受診率≫59.4%	・補助金の支給 ・健診機関の選択肢の設定	・有所見者が再検査を受診しているかどうかのフォローが課題。	3
	3	被扶養者健診	【目的】被扶養者(被扶養配偶者(妻)を除く)の健康保持・増進 【概要】被扶養者健診の費用補助	全て	男女	40～74	被扶養者	167	【令和5年度実績】 ≪対象者≫20名 ≪受診者≫8名 ≪受診率≫40.0%	・補助金の支給 ・健診機関の選択肢の設定	・高齢者を中心に、体調不調箇所への受診を行う一方、健康診断受診の必要性について理解が低い	5
	3	インフルエンザ予防接種補助	【目的】インフルエンザの予防・重症化予防 【概要】被保険者・被扶養者がインフルエンザの予防接種をした場合に費用補助。	全て	男女	0～64	加入者全員	658	【令和5年度実績】 ≪対象者≫2,108名 ≪接種者≫448名 ≪接種率≫21.3%	・補助金の支給	-	4
	4	受診勧奨	【目的】医師への早期受診により、疾病の重症化を防ぐ。 【概要】健診結果について、数値が受診勧奨基準値を超えている者に対し、疾病の重症化を予防するため医師への早期受診を促す。	全て	男女	18～74	基準該当者	6	【令和5年度実績】 ①個別面談等 ≪対象者≫34名 ≪実施者≫34名 ≪実施率≫100% ②重症化予防通知(PepUp) ≪対象者≫被保険者：180名へ案内配信 ③重症化予防通知(紙媒体) ≪対象者≫被扶養者：18名へ案内送付 ④上記①～③の対象者の医療機関への ≪受診率≫ 13.1%	・当健保保健師が、対象者を抽出し個別面談等を実施。 ・重症化予防通知は業者へ委託し実施 被保険者へはPep Upで通知 被扶養者へは郵送	・受診勧奨対象者の医療機関受診率の向上へ向けた対策が必要	2
	6	健康相談医師紹介サービス	Webによる専門医への相談および医師紹介	全て	男女	18～74	加入者全員	141	【令和5年度実績】 ＜累計会員登録者数＞ ・112名(2024年3月現在) ＜利用回数＞ ・Chatbot 85回 ・健康相談チャット 4回 ・医師紹介 2回	健康についての疑問や悩みについてWebにより、速やかに医療専門職への相談ができる	2020年度導入で知名度が低く、登録者数が少ない。	5
	8	禁煙治療費補助	【目的】禁煙による健康の維持・増進 【概要】禁煙外来を受診し、「禁煙外来治療終了証明」の交付を受けた方を対象に補助金を支給。1人につき10,000円(1回限り)	全て	男女	20～74	被保険者	100	【令和5年度実績】 なし	-	-	1
体育奨励	8	体育奨励	【目的】健康の維持・増進 【概要】実施したスポーツ行事について補助を行う(1人1回 1,000円)	全て	-	-	被保険者	100	【令和5年度実績】 1事業所から1回申込あり	-	-	5




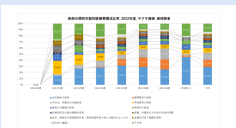
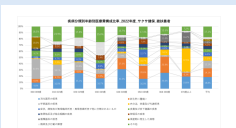



注1) 1. 職場環境の整備 2. 加入者への意識づけ 3. 健康診査 4. 保健指導・受診勧奨 5. 健康教育 6. 健康相談 7. 後発医薬品の使用促進 8. その他の事業

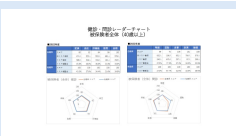

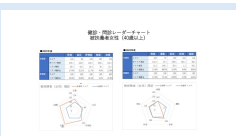
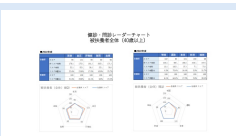



注2) 1. 39%以下 2. 40%以上 3. 60%以上 4. 80%以上 5. 100%

事業名	事業の目的および概要	対象者			振り返り			共同実施
		資格	性別	年齢	実施状況・時期	成功・推進要因	課題及び阻害要因	
事業主の取組								
定期健康診断	労働安全衛生法に基づき実施。	被保険者	男女	18 ～ 65	-	-	-	有
雇入時の健康診断	労働安全衛生法に基づき実施。	被保険者	男女	18 ～ 65	-	-	-	無
特例健診	特に裁量労働従事者の健康維持のため実施。	被保険者	男女	18 ～ 65	-	-	-	無
産業医による個別面談	産業医が、残業時間が多い労働者、健康について相談したい労働者に対し個別面談を行う。	被保険者	男女	18 ～ 65	-	-	-	-
新入社員に対する労働安全衛生教育	元気で働くための健康習慣の取得。研修を通じ、栄養、煙草、運動、睡眠等生活習慣の意識付け。 安全衛生委員会、健康保険組合についての説明。	被保険者	男女	18 ～ 65	-	-	-	無
メンタルヘルスセミナー	外部機関を利用して実施。 ①管理職対象 ②副主事昇格者対象 ③新入社員対象 ※①②にはセルフケアとラインケア、③にはセルフケアについて実施。	被保険者	男女	18 ～ 65	-	-	-	有

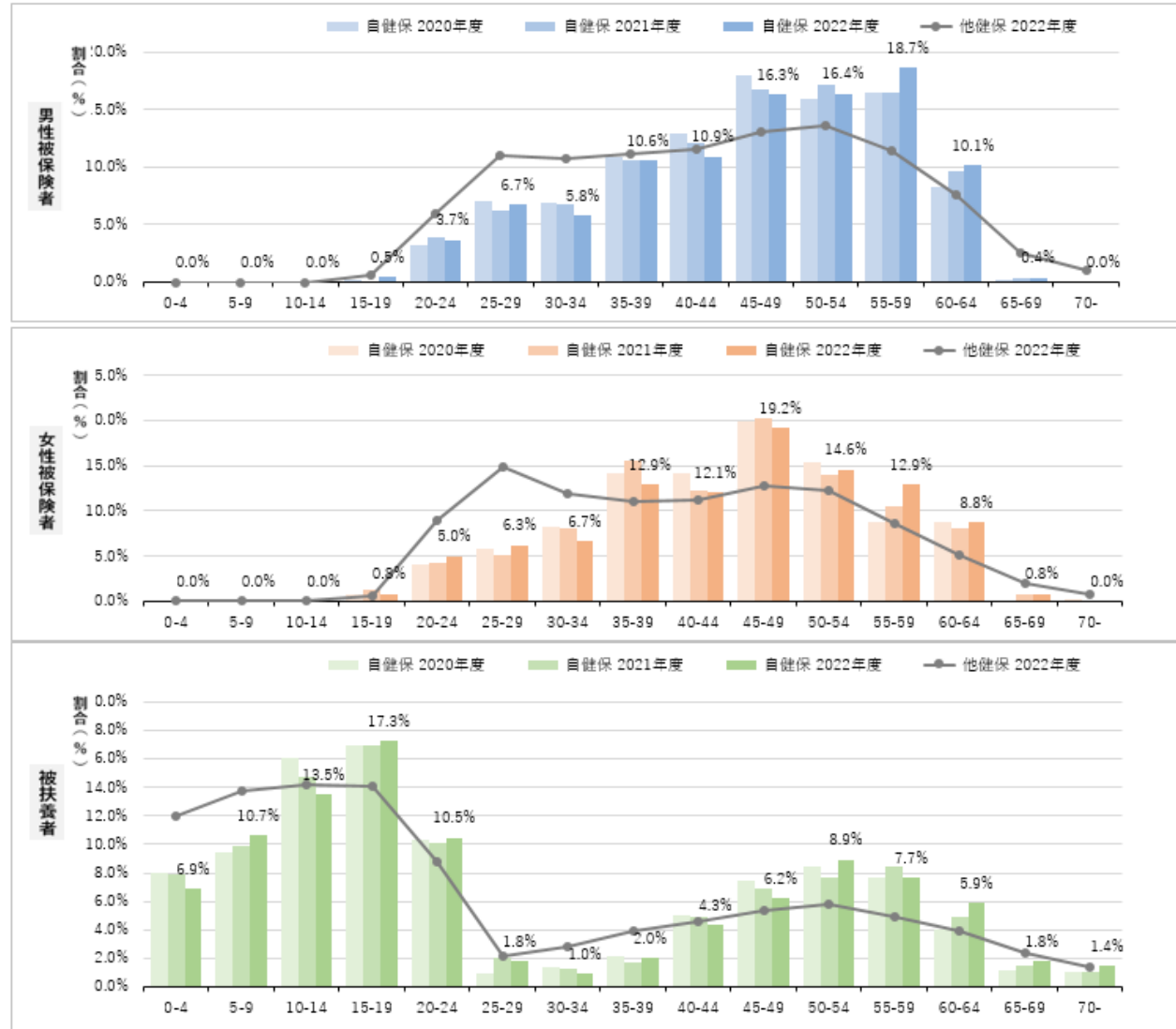
STEP 1-3 基本分析

登録済みファイル一覧

記号	ファイル画像	タイトル	カテゴリ	コメント
ア		年階層層別加入者構成割合	加入者構成の分析	-
イ		医療費の推移	医療費・患者数分析	-
ウ		後発医薬品(ジェネリック医薬品)の推移	後発医薬品分析	-
エ		疾病分類別年齢別医療費構成比率_2022年度_サクサ健保_被保険者	医療費・患者数分析	-
オ		疾病分類別年齢別医療費構成比率_2022年度_サクサ健保_被扶養者	医療費・患者数分析	-
カ		健診受診率(40歳以上)	特定健診分析	-
キ		2018~2022年度 特定健康診査受診率の推移(40歳以上者)	特定健診分析	-
ク		2018~2022年度 特定保健指導実施率の推移(40歳以上者)	特定保健指導分析	-

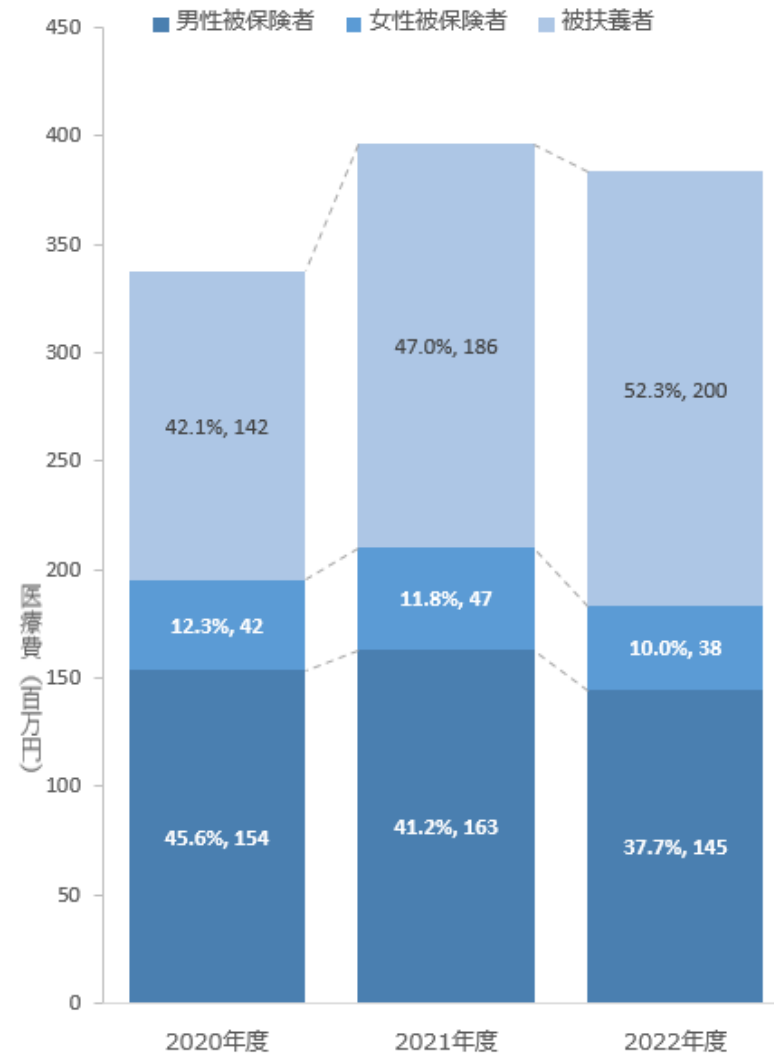
ケ		健診・問診レーダーチャート(被保険者_全体)	特定健診分析	-
コ		健診・問診レーダーチャート(被保険者_男性)	特定健診分析	-
サ		健診・問診レーダーチャート(被保険者_女性)	特定健診分析	-
シ		健診・問診レーダーチャート(被扶養者_全体)	特定健診分析	-
ス		生活習慣病リスク分布(被保険者_40歳以上)	健康リスク分析	-
セ		医療費に占める代表的な疾患の割合	医療費・患者数分析	-
ソ		生活習慣病医療費推移	医療費・患者数分析	-

年齡階層別加入者構成割合

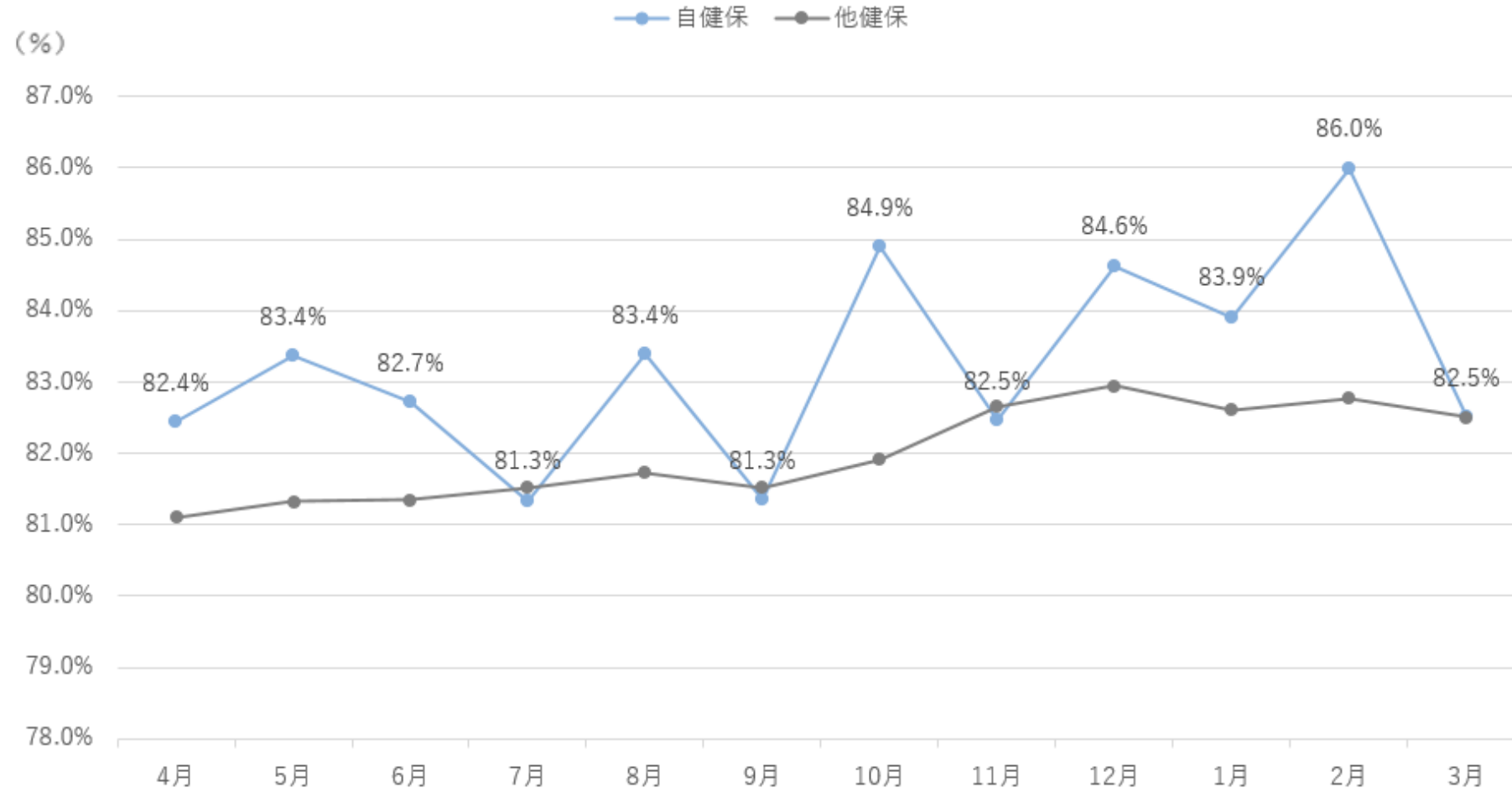


医療費推移

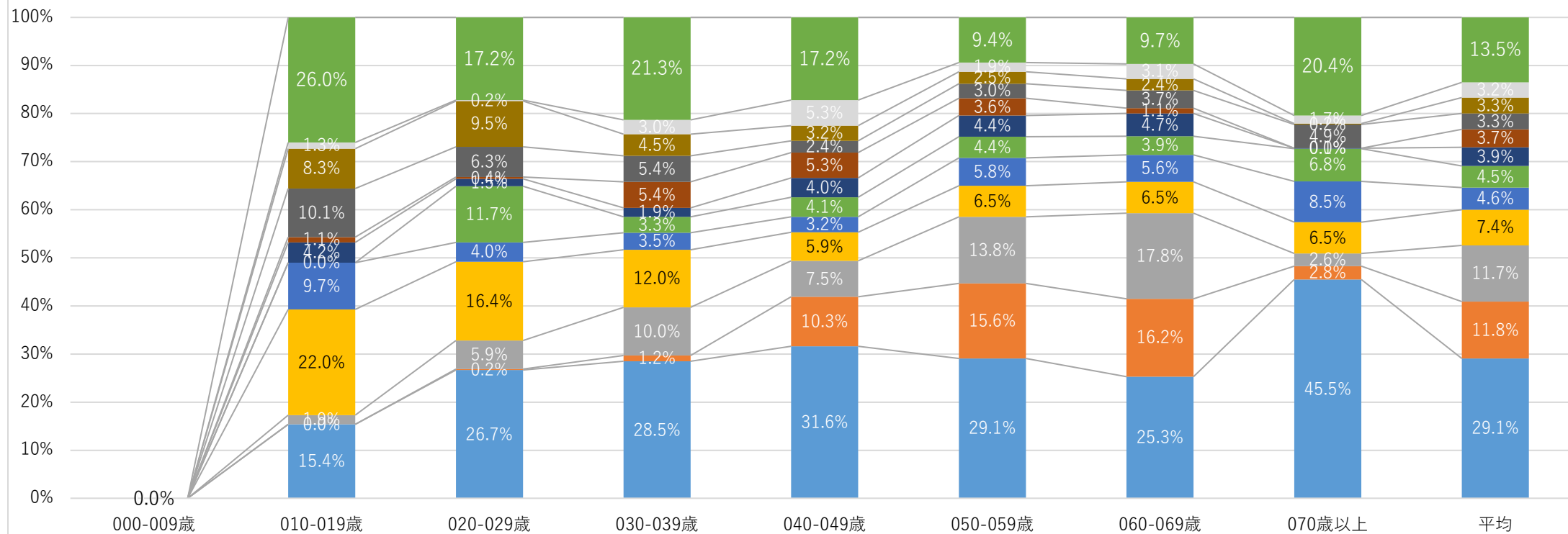
全体



後発医薬品（ジェネリック医薬品）の数量割合

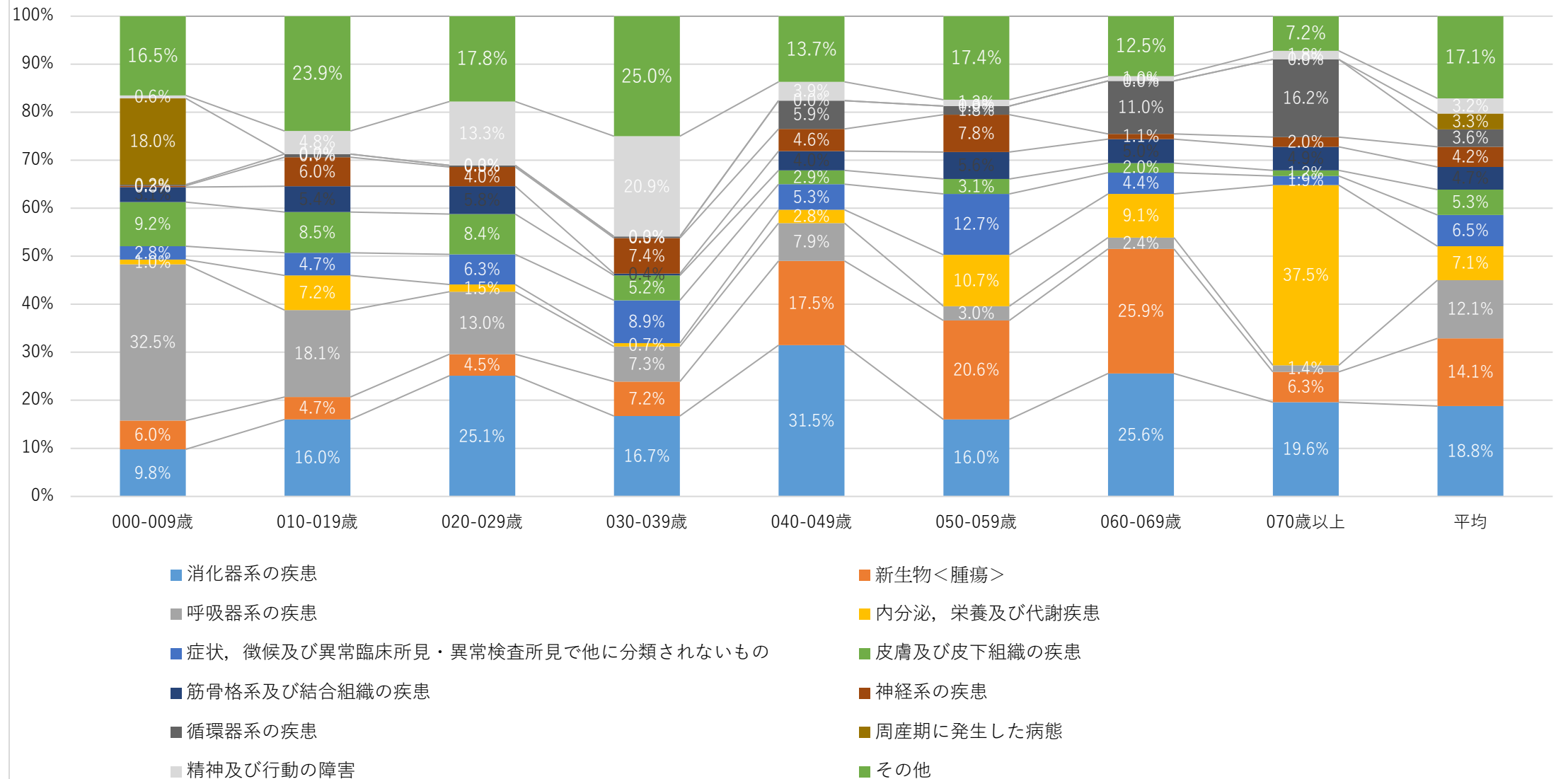


疾病分類別年齢別医療費構成比率_2022年度_サクサ健保_被保険者

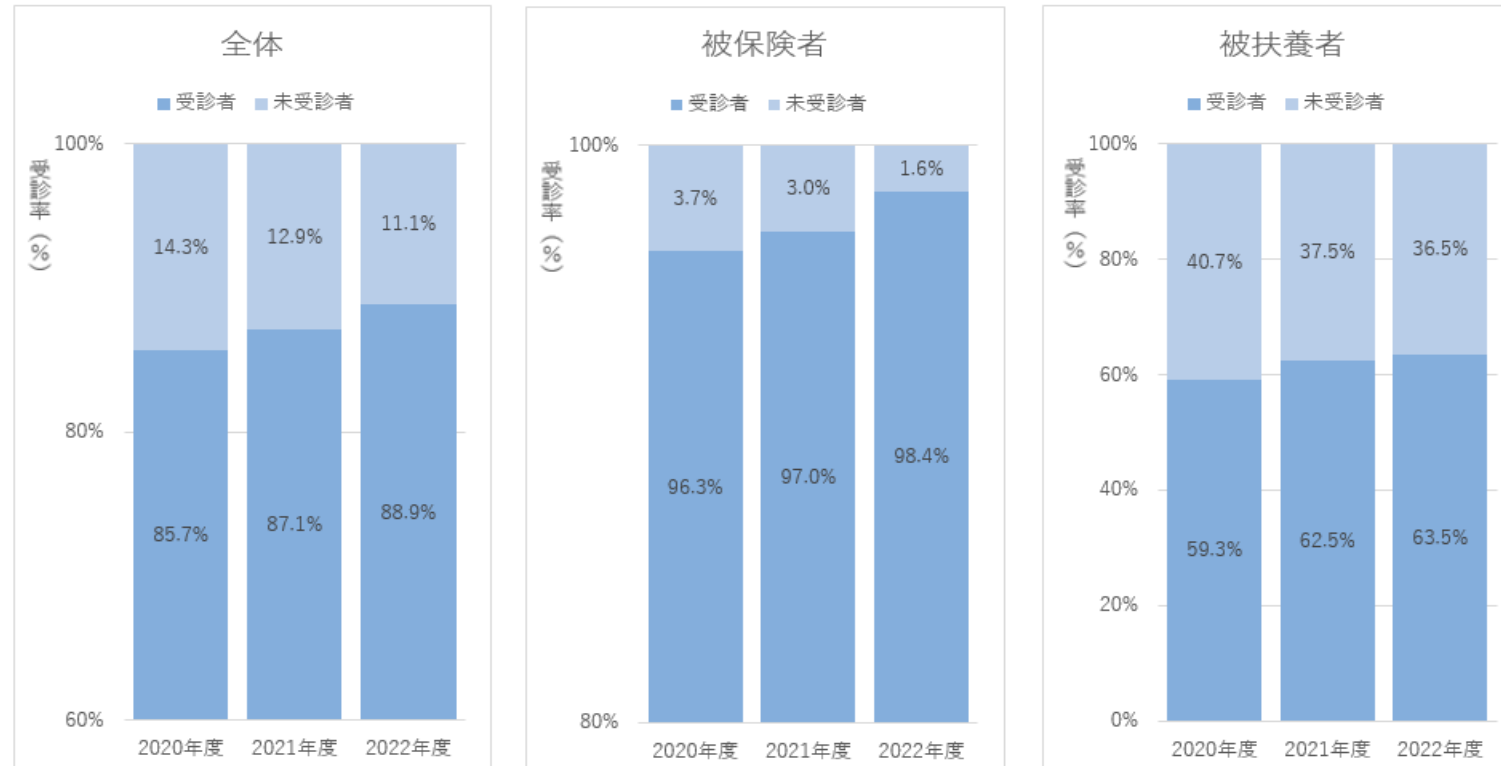


- 消化器系の疾患
- 循環器系の疾患
- 内分泌、栄養及び代謝疾患
- 呼吸器系の疾患
- 眼及び付属器の疾患
- 神経系の疾患
- 筋骨格系及び結合組織の疾患
- 損傷、中毒及びその他の外因の影響
- 症状、徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの
- 皮膚及び皮下組織の疾患
- 新生物<腫瘍>
- その他

疾病分類別年齢別医療費構成比率_2022年度_サクサ健保_被扶養者



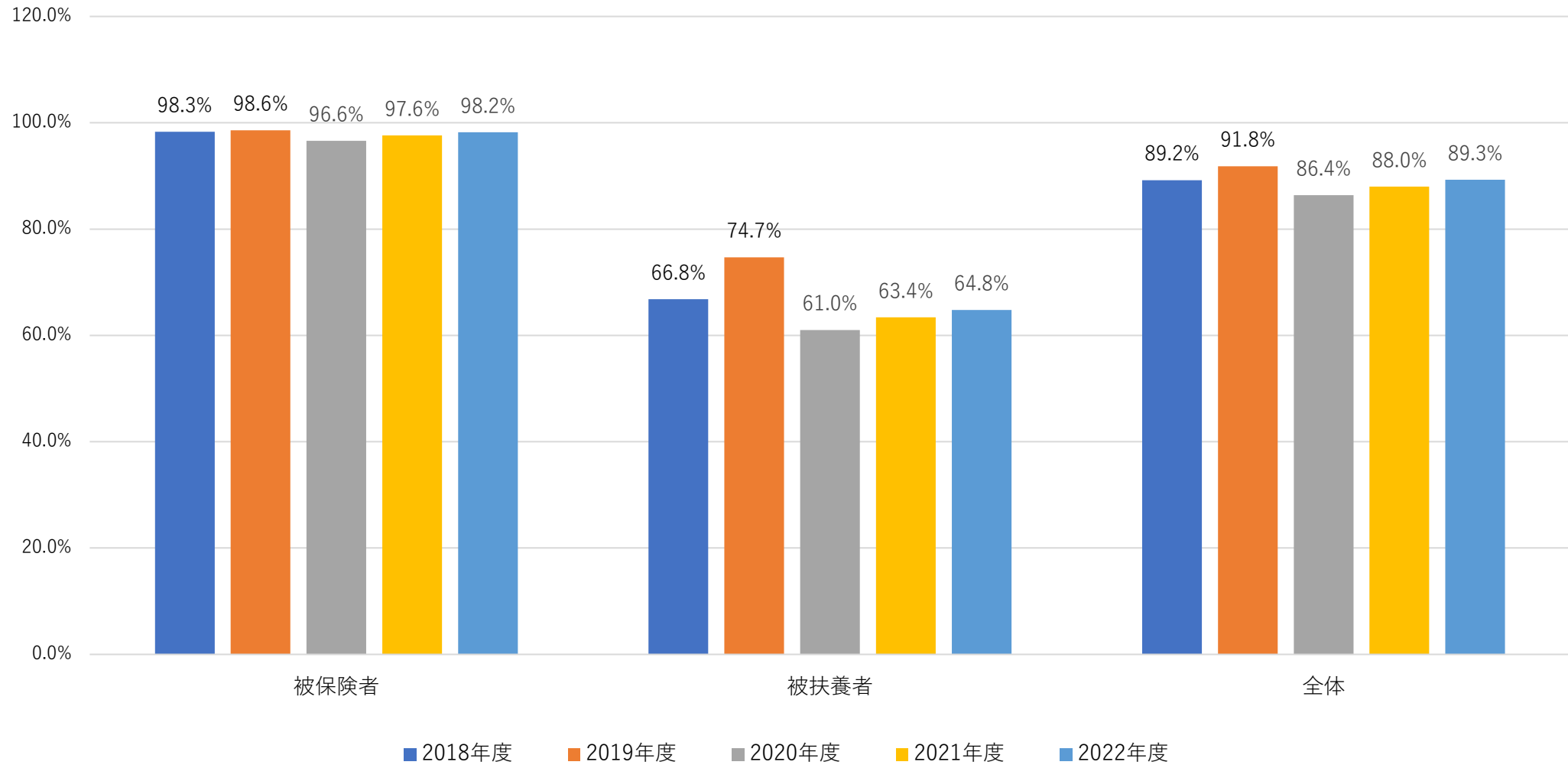
健診受診率の推移（40歳以上）



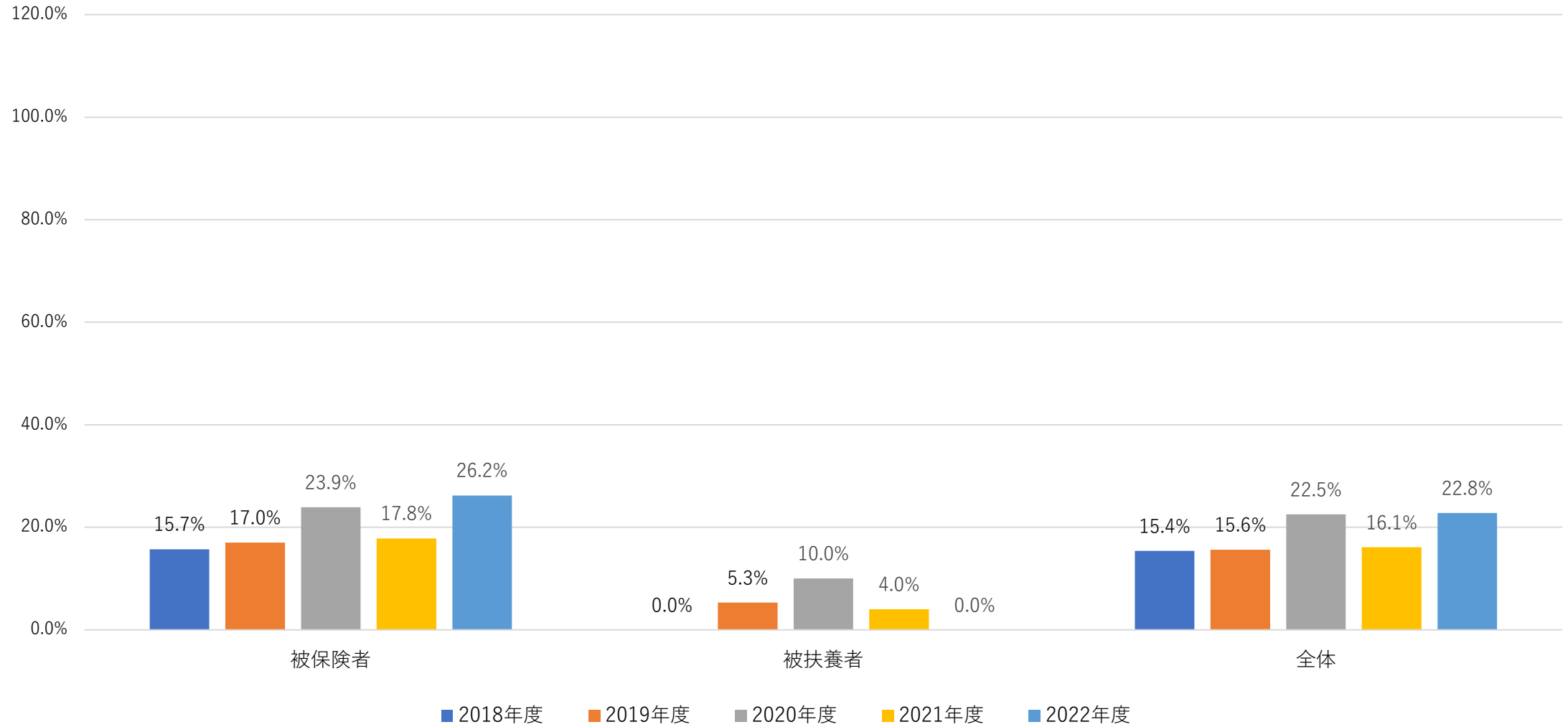
■人数

		2020年度	2021年度	2022年度	
全体	受診者	1,045人	1,067人	1,068人	
	未受診者	175人	158人	134人	
被保険者	受診者	合計	837人	847人	859人
		男性	685人	697人	701人
		女性	152人	150人	158人
	未受診者	32人	26人	14人	
被扶養者	受診者	208人	220人	209人	
	未受診者	143人	132人	120人	

2018～2022年度 特定健康診査受診率の推移（40歳以上者）



2018～2022年度 特定保健指導実施率の推移（40歳以上者）



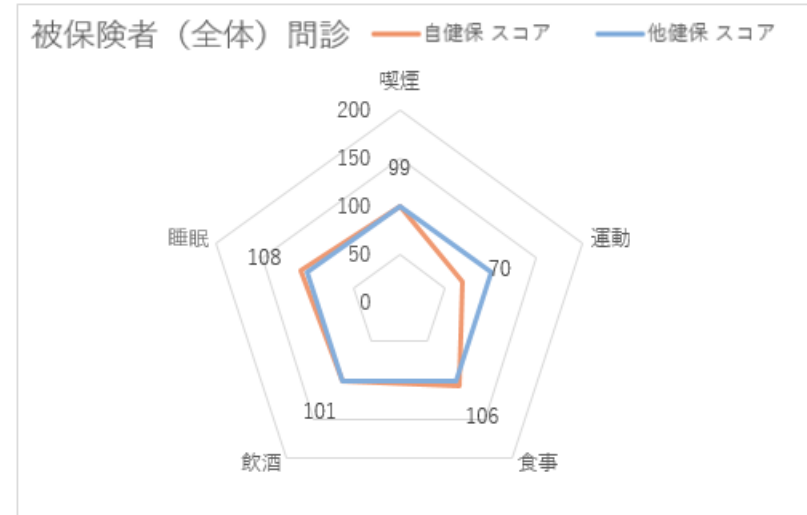
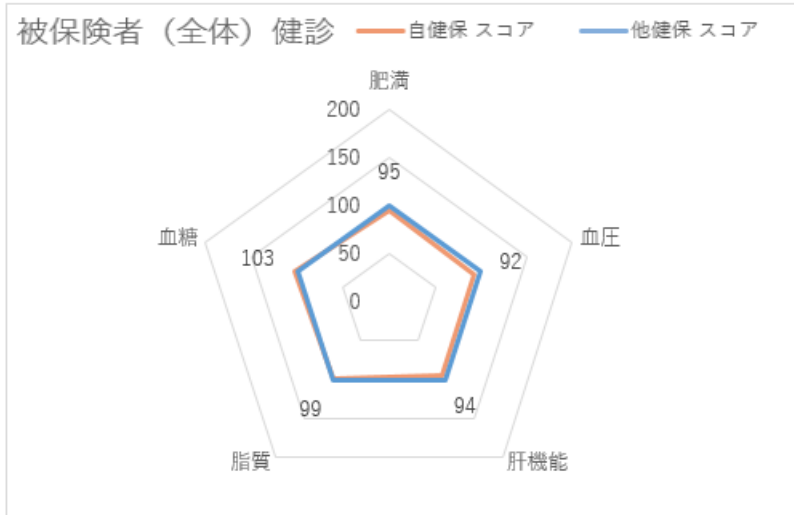
健診・問診レーダーチャート 被保険者全体（40歳以上）

■2022年度

		肥満	血圧	肝機能	脂質	血糖
自健保	スコア	95	92	94	99	103
	非リスク者数	474人	523人	553人	681人	579人
	リスク者数	398人	349人	319人	191人	293人
	リスク者割合	45.6%	40.0%	36.6%	21.9%	33.6%
他健保	スコア	100	100	100	100	100
	リスク者割合	43.3%	37.0%	34.4%	21.6%	34.8%

■2022年度

		喫煙	運動	食事	飲酒	睡眠
自健保	スコア	99	70	106	101	108
	非リスク者数	632人	196人	631人	784人	576人
	リスク者数	240人	675人	237人	87人	295人
	リスク者割合	27.5%	77.5%	27.3%	10.0%	33.9%
他健保	スコア	100	100	100	100	100
	リスク者割合	27.0%	67.7%	31.5%	10.5%	38.5%



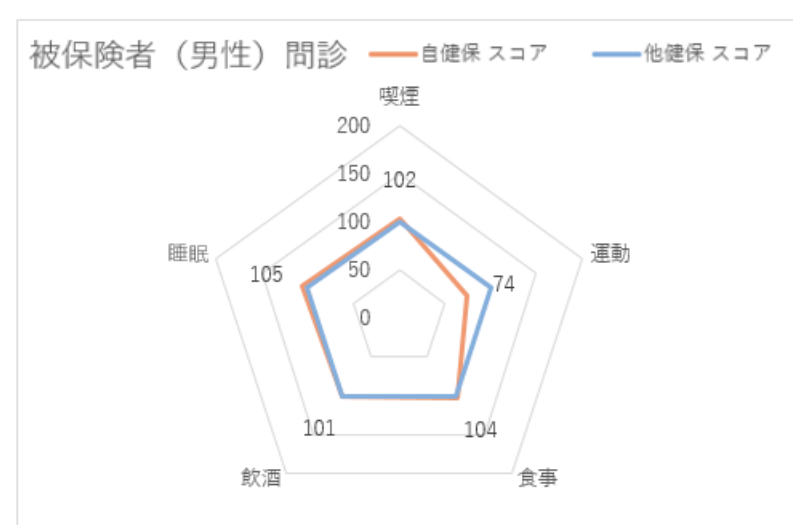
健診・問診レーダーチャート 被扶養者男性（40歳以上）

■2022年度

		肥満	血圧	肝機能	脂質	血糖
自健保	スコア	99	99	101	104	104
	非リスク者数	341人	413人	410人	527人	438人
	リスク者数	369人	297人	300人	183人	272人
	リスク者割合	52.0%	41.8%	42.3%	25.8%	38.3%
他健保	スコア	100	100	100	100	100
	リスク者割合	51.6%	41.3%	42.5%	26.9%	39.8%

■2022年度

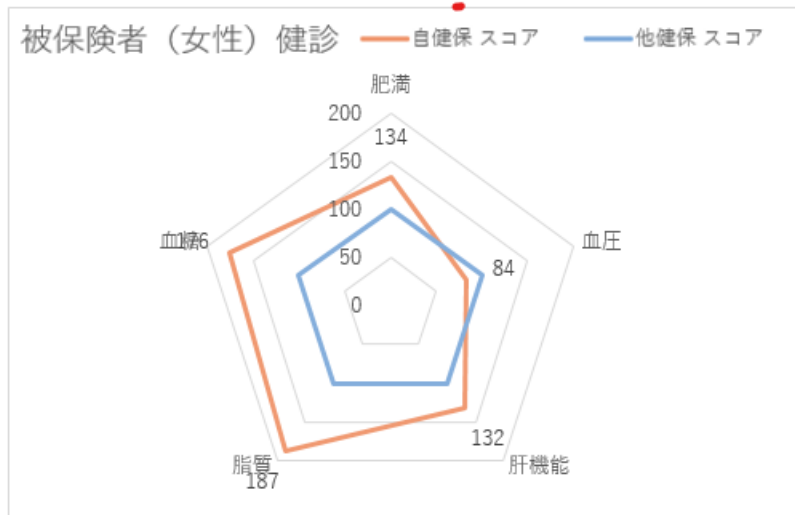
		喫煙	運動	食事	飲酒	睡眠
自健保	スコア	102	74	104	101	105
	非リスク者数	491人	179人	495人	623人	477人
	リスク者数	219人	530人	212人	86人	232人
	リスク者割合	30.8%	74.8%	30.0%	12.1%	32.7%
他健保	スコア	100	100	100	100	100
	リスク者割合	32.5%	66.0%	32.4%	13.3%	36.0%



健診・問診レーダーチャート 被扶養者女性（40歳以上）

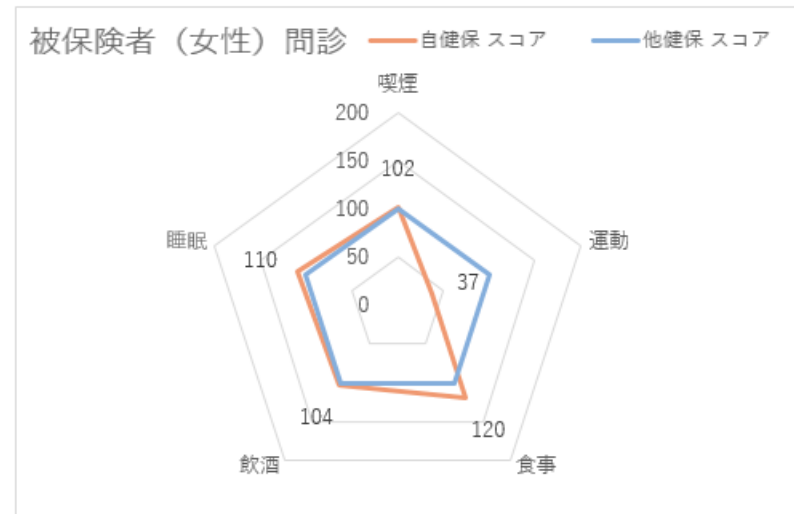
■2022年度

		肥満	血圧	肝機能	脂質	血糖
自健保	スコア	134	84	132	187	176
	非リスク者数	133人	110人	143人	154人	141人
	リスク者数	29人	52人	19人	8人	21人
	リスク者割合	17.9%	32.1%	11.7%	4.9%	13.0%
他健保	スコア	100	100	100	100	100
	リスク者割合	23.9%	26.8%	15.4%	9.2%	22.9%



■2022年度

		喫煙	運動	食事	飲酒	睡眠
自健保	スコア	102	37	120	104	110
	非リスク者数	141人	17人	136人	161人	99人
	リスク者数	21人	145人	25人	1人	63人
	リスク者割合	13.0%	89.5%	15.5%	0.6%	38.9%
他健保	スコア	100	100	100	100	100
	リスク者割合	14.3%	71.4%	29.5%	4.0%	44.4%



健診・問診レーダーチャート 被扶養者全体（40歳以上）

■2022年度

		肥満	血圧	肝機能	脂質	血糖
自健保	スコア	96	121	95	90	90
	非リスク者数	178人	175人	191人	205人	171人
	リスク者数	52人	55人	39人	25人	59人
	リスク者割合	22.6%	23.9%	17.0%	10.9%	25.7%
他健保	スコア	100	100	100	100	100
	リスク者割合	21.6%	28.8%	16.1%	9.8%	23.2%

■2022年度

		喫煙	運動	食事	飲酒	睡眠
自健保	スコア	102	83	101	100	98
	非リスク者数	220人	68人	189人	223人	157人
	リスク者数	10人	162人	37人	7人	73人
	リスク者割合	4.3%	70.4%	16.4%	3.0%	31.7%
他健保	スコア	100	100	100	100	100
	リスク者割合	6.1%	64.4%	17.2%	2.9%	30.4%



生活習慣病リスク分布_被保険者(40歳以上)

		生活習慣病では未通院 (未治療)					生活習慣病通院 (治療) 歴あり		
		未把握 (健診未受診)	正常群	不健康群	患者予備群	治療放置群	生活習慣病群	重症化群	生活機能低下群
		不明	正常値レベル	保険料等が 必要なレベル	病院で診察を受けたほうが 良いレベル	治療する必要があるレベル	合併症はない	合併症に 進行しています	重症な状態 になっています
該当者数	2022年度	6	116	183	179	65	234	87	3
	2021年度	15	109	166	194	71	229	86	3
	2020年度	19	95	185	211	64	206	87	2
割合	2022年度	-	13.4%	21.1%	20.6%	7.5%	27.0%	10.0%	0.3%
	2021年度	-	12.7%	19.3%	22.6%	8.3%	26.7%	10.0%	0.3%
	2020年度	-	11.2%	21.8%	24.8%	7.5%	24.2%	10.2%	0.2%
	他健保 2022年度	-	13.2%	21.8%	23.6%	6.2%	25.7%	9.1%	0.5%
医療費	2022年度	-	172,517	80,958	67,514	70,792	248,721	406,220	1,133,237

医療費に占める代表的疾患の割合

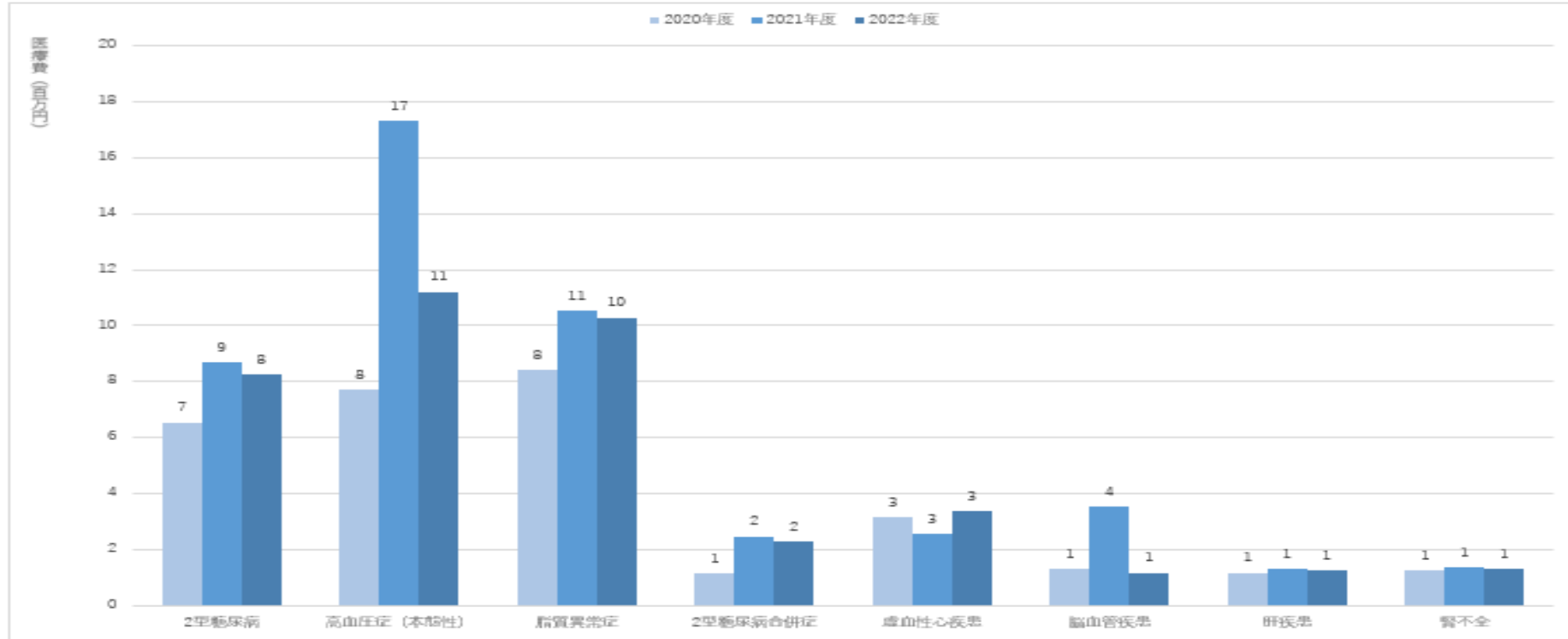
■割合

分類	2020年度	2021年度	2022年度	他健保 2022年度
生活習慣病	8.7%	11.7%	10.4%	8.7%
悪性腫瘍	6.8%	5.2%	6.1%	5.5%
精神疾患	2.4%	2.0%	2.0%	1.5%
歯科	12.9%	12.4%	12.9%	12.2%
その他	69.2%	68.7%	68.5%	72.0%

■医療費（百万円）

	2020年度	2021年度	2022年度
生活習慣病	29	46	40
悪性腫瘍	23	20	24
精神疾患	8	8	8
歯科	44	49	50
その他	234	272	263

生活習慣病医療費推移



	医療費 (百万円)			加入者数 (人)			実患者数 (人)			受療率 (%)		
	2020年度	2021年度	2022年度	2020年度	2021年度	2022年度	2020年度	2021年度	2022年度	2020年度	2021年度	2022年度
2型糖尿病	7	9	8	2,394人	2,345人	2,289人	144人	150人	170人	6%	6%	7%
高血圧症 (本態性)	8	17	11	2,394人	2,345人	2,289人	296人	302人	313人	12%	13%	14%
脂質異常症	8	11	10	2,394人	2,345人	2,289人	307人	329人	333人	13%	14%	15%
2型糖尿病合併症	1	2	2	2,394人	2,345人	2,289人	34人	37人	33人	1%	2%	1%
虚血性心疾患	3	3	3	2,394人	2,345人	2,289人	51人	45人	49人	2%	2%	2%
脳血管疾患	1	4	1	2,394人	2,345人	2,289人	41人	38人	43人	2%	2%	2%
肝疾患	1	1	1	2,394人	2,345人	2,289人	73人	88人	91人	3%	4%	4%
腎不全	1	1	1	2,394人	2,345人	2,289人	15人	18人	16人	1%	1%	1%

STEP 2 健康課題の抽出

No.	STEP1 対応項目	基本分析による現状把握から見える主な健康課題		対策の方向性	優先すべき 課題
1	ア, イ, ウ, エ, オ	<ul style="list-style-type: none"> 医療費は全体的に上昇傾向にある。 「生活習慣病」、「悪性腫瘍」、「精神疾患」、「歯科」関連の医療費に着目すると、何れも他健保平均を上回っている。 	➔	<ul style="list-style-type: none"> 各種健康診断の受診率の向上と、早期治療と生活習慣の改善に向けた対策を講ずる。 後発医薬品による医療費の削減 	
2	カ, ク	40歳以上の被保険者の生活習慣病に罹患するリスク分布に着目すると、2020年度と2022年度の比較では、「正常群」の比率が2.2PT増加しているが、一方で通院治療歴のある者の比率が、2.7PT増加しているため、生活習慣の改善に向けた更なる対応の必要性がある。	➔	生活習慣病予備群に対する、特定保健指導の受講促進。	

基本情報

No.	特徴		対策検討時に留意すべき点
1	情報通信システム機器の開発・製造・販売を行う会社で、年齢階層別加入者構成割合を見ると、男女共に40歳以上の加入者が全体の7割を占め、高齢化が進んでいる。	➔	高齢化により病気に罹患するリスクが高まるので、各種健康診断等による、早期発見・早期治療の重要性を促す。

保健事業の実施状況

No.	特徴		対策検討時に留意すべき点
1	会社(事業主)とコラボし、各種健康診断や特定保健指導の受診を促している。	➔	被扶養者、特に前期高齢者の健康診断受診率が低い。

STEP 3 保健事業の実施計画

事業全体の目的

■加入者の「健康維持」「疾病予防」「重症化予防」に注力し、健康の維持・増進と医療費の削減を目指す。

事業全体の目標

- 加入者の健康に対する意識を高度化させ、各種健診の受診率の向上を目指す。
- 健康寿命の延伸と、シニア層のより活性化を図る。

事業の一覧

職場環境の整備

加入者への意識づけ

保健指導宣伝	医療費通知書発行
保健指導宣伝	育児雑誌の配布
保健指導宣伝	機関誌発行
保健指導宣伝	ジェネリック医薬品差額通知の送付
保健指導宣伝	Pep Up

個別の事業

特定健康診査事業	特定健診
特定保健指導事業	特定保健指導
疾病予防	生活習慣病健診
疾病予防	人間ドック
疾病予防	婦人科検診
疾病予防	主婦健診
疾病予防	被扶養者健診
疾病予防	インフルエンザ予防接種補助
疾病予防	受診勧奨
疾病予防	禁煙治療費補助
疾病予防	健康相談アプリ クリントラルサービス
体育奨励	体育奨励

※事業は予算科目順に並び替えて表示されています。

予算科目	注1)事業分類	新規既存	事業名	対象者				注2)実施主体	注3)プロセス分類	実施方法	注4)ストラクチャー分類	実施体制	予算額(千円)						事業目標	健康課題との関連
				対象事業所	性別	年齢	対象者						実施計画							
													令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度		
アウトプット指標												アウトカム指標								
職場環境の整備																				
加入者への意識づけ																				
保健指導宣伝	8	既存	医療費通知書発行	全て	男女	18～74	基準該当者	1	ス	-	シ	-	0	-	-	-	-	【目的】医療機関等からの医療費請求の確認 【概要】毎月の医療費状況(全数通知)の医療費のお知らせをすることによって、医療費に対する意識を高めてもらう。	該当なし(これまでの経緯等で実施する事業)	
													毎月発行	毎月発行	毎月発行	毎月発行	毎月発行	毎月発行	毎月の医療費状況(全数通知)を知らせるもので、アウトカム指標の設定にはなじまない。(アウトカムは設定されていません)	
													医療費通知書の毎月発行(【実績値】12回 【目標値】令和6年度:12回 令和7年度:12回 令和8年度:12回 令和9年度:12回 令和10年度:12回 令和11年度:12回)加入者の受診行動の意識が変わり、医療費適正化につながる。							
8	既存	育児雑誌の配布	全て	男女	18～50	基準該当者	1	ス	-	シ	-	69	-	-	-	-	-	【目的】育児に関する情報を発信することにより、不安を解消してもらう。 【概要】育児雑誌「赤ちゃんと!」を送付	該当なし(これまでの経緯等で実施する事業)	
												・「赤ちゃんと!」毎月	・「赤ちゃんと!」毎月	・「赤ちゃんと!」毎月	・「赤ちゃんと!」毎月	・「赤ちゃんと!」毎月	・「赤ちゃんと!」毎月	育児情報を発信するものであり、アウトカム指標の設定にはなじまない。(アウトカムは設定されていません)		
												育児雑誌の発送(【実績値】12回 【目標値】令和6年度:12回 令和7年度:12回 令和8年度:12回 令和9年度:12回 令和10年度:12回 令和11年度:12回)「赤ちゃんと!」毎月送付								
5	既存	機関誌発行	全て	男女	18～74	被保険者	1	ス	-	シ	-	1,009	-	-	-	-	-	【目的】情報発信 【概要】組合の事業計画、財政状況等の広報および健康情報等の提供。	該当なし(これまでの経緯等で実施する事業)	
												年2回発行(春・秋)	年2回発行(春・秋)	年2回発行(春・秋)	年2回発行(春・秋)	年2回発行(春・秋)	年2回発行(春・秋)	組合の事業計画、財政状況等の広報および健康情報等の提供を目的とするものであり、アウトカム指標設定にはなじまない。(アウトカムは設定されていません)		
												機関誌の発行(【実績値】2回 【目標値】令和6年度:2回 令和7年度:2回 令和8年度:2回 令和9年度:2回 令和10年度:2回 令和11年度:2回)健保組合の状況・活動の周知。								
7	既存	ジェネリック医薬品差額通知の送付	全て	男女	0～74	基準該当者	1	エ,キ	-	シ	-	外部業者の活用。	33	-	-	-	-	【目的】薬剤費削減 【概要】ジェネリック利用促進通知の送付等	・医療費は全体的に上昇傾向にある。 ・「生活習慣病」、「悪性腫瘍」、「精神疾患」、「歯科」関連の医療費に着目すると、何れも他健保平均を上回っている。	
													①被保険者へは3ヵ月毎に通知(PepUp登録者) ②被扶養者へは12月に通知書を郵送	①被保険者へは3ヵ月毎に通知(PepUp登録者) ②被扶養者へは12月に通知書を郵送	①被保険者へは3ヵ月毎に通知(PepUp登録者) ②被扶養者へは12月に通知書を郵送	①被保険者へは3ヵ月毎に通知(PepUp登録者) ②被扶養者へは12月に通知書を郵送	①被保険者へは3ヵ月毎に通知(PepUp登録者) ②被扶養者へは12月に通知書を郵送	①被保険者へは3ヵ月毎に通知(PepUp登録者) ②被扶養者へは12月に通知書を郵送	ジェネリック利用率(【実績値】80.4% 【目標値】令和6年度:80% 令和7年度:80% 令和8年度:80% 令和9年度:80% 令和10年度:80% 令和11年度:80%)	
													ジェネリック通知発送案内の発行(【実績値】1回 【目標値】令和6年度:1回 令和7年度:1回 令和8年度:1回 令和9年度:1回 令和10年度:1回 令和11年度:1回)薬剤費の削減。							
2,4,7	既存	Pep Up	全て	男女	18～65	被保険者	1	エ	-	シ	-	-	1,446	-	-	-	-	アプリ登録率85%	・医療費は全体的に上昇傾向にある。 ・「生活習慣病」、「悪性腫瘍」、「精神疾患」、「歯科」関連の医療費に着目すると、何れも他健保平均を上回っている。	
													登録率:60%	登録率:65%	登録率:70%	登録率:75%	登録率:80%	登録率:85%	PepUp登録促進回数(【実績値】0回 【目標値】令和6年度:4回 令和7年度:4回 令和8年度:4回 令和9年度:4回 令和10年度:4回 令和11年度:4回)-	
													PepUp登録促進回数(【実績値】0回 【目標値】令和6年度:4回 令和7年度:4回 令和8年度:4回 令和9年度:4回 令和10年度:4回 令和11年度:4回)-							

個別の事業

特定健康診査事業	3	既存(法定)	特定健診	全て	男女	40～74	加入者全員	1	ケ,サ	-	ア,キ	-	1,945	-	-	-	-	【目的】特定健診の受診率向上、加入者の健康維持。 【概要】メタボリックシンドロームに着目した健康状況の把握。	・医療費は全体的に上昇傾向にある。 ・「生活習慣病」、「悪性腫瘍」、「精神疾患」、「歯科」関連の医療費に着目すると、何れも他健保平均を上回っている。
													・3月～5月実施案内の発行 ・4月～12月受診期間	・3月～5月実施案内の発行 ・4月～12月受診期間	・3月～5月実施案内の発行 ・4月～12月受診期間	・3月～5月実施案内の発行 ・4月～12月受診期間	・3月～5月実施案内の発行 ・4月～12月受診期間	・3月～5月実施案内の発行 ・4月～12月受診期間	40歳以上の被保険者の生活習慣病に罹患するリスク分布に着目すると、2020年度と2022年度の比較では、「正常群」の比率が2.2PT増加しているが、一方で通院治療歴のある者の比率が、2.7PT増加しているため、生活習慣の改善に向けた更なる対応の必要性がある。
													健診実施案内の発行(【実績値】3回 【目標値】令和6年度:3回 令和7年度:3回 令和8年度:3回 令和9年度:3回 令和10年度:3回 令和11年度:3回)特定健診を包含した各種健診(以下のとおり)の実施通知を確実に発行する。 ・生活習慣病健診 ・人間ドック ・主婦健診 ・被扶養者健診						
												1,499	-	-	-	-	-	特定健診受診率(【実績値】89.9% 【目標値】令和6年度:90% 令和7年度:90% 令和8年度:90% 令和9年度:90% 令和10年度:90% 令和11年度:90%)2023(令和5)年度実績 89.9%	

予算科目	注1)事業分類	新規既存	事業名	対象者				注2)実施主体	注3)プロセス分類	実施方法	注4)ストラクチャー分類	実施体制	予算額(千円)						事業目標	健康課題との関連
				対象事業所	性別	年齢	対象者						実施計画							
													令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度		
アウトプット指標												アウトカム指標								
特定保健指導事業	4	既存(法定)	特定保健指導	全て	男女	40～74	基準該当者	1	エ,ク,ケ	-	ア,ウ,キ	-	被保険者・被扶養者を対象に、初回面談(11月及び翌年2月)から3か月間実施	被保険者・被扶養者を対象に、初回面談(11月及び翌年2月)から3か月間実施	被保険者・被扶養者を対象に、初回面談(11月及び翌年2月)から3か月間実施	被保険者・被扶養者を対象に、初回面談(11月及び翌年2月)から3か月間実施	被保険者・被扶養者を対象に、初回面談(11月及び翌年2月)から3か月間実施	被保険者・被扶養者を対象に、初回面談(11月及び翌年2月)から3か月間実施	【目的】特定保健指導の実施率向上、生活習慣病リスク保有者の生活習慣、健康状態の改善。 【概要】メタボリック・シンドロームの減少を目的に、保健指導を実施。	・医療費は全体的に上昇傾向にある。 ・「生活習慣病」、「悪性腫瘍」、「精神疾患」、「歯科」関連の医療費に着目すると、何れも他健保平均を上回っている。 40歳以上の被保険者の生活習慣病に罹患するリスク分布に着目すると、2020年度と2022年度の比較では、「正常群」の比率が2.2PT増加しているが、一方で通院治療歴のある者の比率が、2.7PT増加しているため、生活習慣の改善に向けた更なる対応の必要性がある。
疾病予防	3	既存(法定)	生活習慣病健診	全て	男女	35～74	被保険者	3	ケ,サ	-	ア	-	・4月～5月 実施案内の発行 ・4月～10月 生活習慣病健診を実施。	・4月～5月 実施案内の発行 ・4月～10月 生活習慣病健診を実施。	・4月～5月 実施案内の発行 ・4月～10月 生活習慣病健診を実施。	・4月～5月 実施案内の発行 ・4月～10月 生活習慣病健診を実施。	・4月～5月 実施案内の発行 ・4月～10月 生活習慣病健診を実施。	・4月～5月 実施案内の発行 ・4月～10月 生活習慣病健診を実施。	【目的】生活習慣病の早期発見・早期治療により、重症化を予防する。 【概要】35歳以上の被保険者を対象として事業主と共同で生活習慣病健診を実施。	・医療費は全体的に上昇傾向にある。 ・「生活習慣病」、「悪性腫瘍」、「精神疾患」、「歯科」関連の医療費に着目すると、何れも他健保平均を上回っている。 40歳以上の被保険者の生活習慣病に罹患するリスク分布に着目すると、2020年度と2022年度の比較では、「正常群」の比率が2.2PT増加しているが、一方で通院治療歴のある者の比率が、2.7PT増加しているため、生活習慣の改善に向けた更なる対応の必要性がある。
3	既存(法定)	人間ドック	全て	男女	35～74	被保険者	1	ケ	-	ア,キ	-	・3月、4月 実施案内の発行 ・4月～12月 人間ドックを受診	・3月、4月 実施案内の発行 ・4月～12月 人間ドックを受診	・3月、4月 実施案内の発行 ・4月～12月 人間ドックを受診	・3月、4月 実施案内の発行 ・4月～12月 人間ドックを受診	・3月、4月 実施案内の発行 ・4月～12月 人間ドックを受診	・3月、4月 実施案内の発行 ・4月～12月 人間ドックを受診	【目的】生活習慣病の早期発見・早期治療により、重症化を予防する。 【概要】被保険者を対象に人間ドック費用への補助制度あり	・医療費は全体的に上昇傾向にある。 ・「生活習慣病」、「悪性腫瘍」、「精神疾患」、「歯科」関連の医療費に着目すると、何れも他健保平均を上回っている。 40歳以上の被保険者の生活習慣病に罹患するリスク分布に着目すると、2020年度と2022年度の比較では、「正常群」の比率が2.2PT増加しているが、一方で通院治療歴のある者の比率が、2.7PT増加しているため、生活習慣の改善に向けた更なる対応の必要性がある。	
																				人間ドック実施案内の発行(【実績値】1回 【目標値】令和6年度：1回 令和7年度：1回 令和8年度：1回 令和9年度：1回 令和10年度：1回 令和11年度：1回)人間ドックの実施案内を発行する。
3	既存	婦人科検診	全て	女性	20～74	被保険者	1	ウ	-	シ	-	・3月、4月 実施案内の発行 ・4月～12月 婦人科検診受診	・3月、4月 実施案内の発行 ・4月～12月 婦人科検診受診	・3月、4月 実施案内の発行 ・4月～12月 婦人科検診受診	・3月、4月 実施案内の発行 ・4月～12月 婦人科検診受診	・3月、4月 実施案内の発行 ・4月～12月 婦人科検診受診	・3月、4月 実施案内の発行 ・4月～12月 婦人科検診受診	【目的】子宮がん、乳がんの早期発見 【概要】子宮がん検診、乳がん検診の費用補助制度あり	・医療費は全体的に上昇傾向にある。 ・「生活習慣病」、「悪性腫瘍」、「精神疾患」、「歯科」関連の医療費に着目すると、何れも他健保平均を上回っている。	
																				婦人科検診実施案内の発行(【実績値】1回 【目標値】令和6年度：1回 令和7年度：1回 令和8年度：1回 令和9年度：1回 令和10年度：1回 令和11年度：1回)婦人科検診の実施案内の発行。
												8,881								

予算科目	注1)事業分類	新規既存	事業名	対象者				注2)実施主体	注3)プロセス分類	実施方法	注4)ストラクチャー分類	実施体制	予算額(千円)					事業目標	健康課題との関連	
				対象事業所	性別	年齢	対象者						実施計画							
													令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度			令和11年度
アウトプット指標												アウトカム指標								
3	既存	主婦健診	全て	女性	20～74	被扶養者	1	ケ	-	ア	-		・3月、4月 実施案内の発行 ・4月～12月 主婦健診受診	・3月、4月 実施案内の発行 ・4月～12月 主婦健診受診	・3月、4月 実施案内の発行 ・4月～12月 主婦健診受診	・3月、4月 実施案内の発行 ・4月～12月 主婦健診受診	・3月、4月 実施案内の発行 ・4月～12月 主婦健診受診	・3月、4月 実施案内の発行 ・4月～12月 主婦健診受診	【目的】被扶養配偶者（妻）の健康保持・増進 【概要】主婦健診の費用補助制度あり	・医療費は全体的に上昇傾向にある。 ・「生活習慣病」、「悪性腫瘍」、「精神疾患」、「歯科」関連の医療費に着目すると、何れも他健保平均を上回っている。 40歳以上の被保険者の生活習慣病に罹患するリスク分布に着目すると、2020年度と2022年度の比較では、「正常群」の比率が2.2PT増加しているが、一方で通院治療歴のある者の比率が、2.7PT増加しているため、生活習慣の改善に向けた更なる対応の必要性がある。
被保険者へのメールによる受診促進(【実績値】5回以上 【目標値】令和6年度：1回以上 令和7年度：1回以上 令和8年度：1回以上 令和9年度：1回以上 令和10年度：1回以上 令和11年度：1回以上)被保険者へのメールによる受診促進。												主婦健診受診率(【実績値】59.4% 【目標値】令和6年度：65% 令和7年度：67% 令和8年度：69% 令和9年度：71% 令和10年度：73% 令和11年度：75%)2023(令和5)年度実績 59.4%								
3	既存	被扶養者健診	全て	男女	40～74	被扶養者	1	ケ	-	ア	-		・3月、4月 実施案内の発行 ・4月～12月 被扶養者健診受診	・3月、4月 実施案内の発行 ・4月～12月 被扶養者健診受診	・3月、4月 実施案内の発行 ・4月～12月 被扶養者健診受診	・3月、4月 実施案内の発行 ・4月～12月 被扶養者健診受診	・3月、4月 実施案内の発行 ・4月～12月 被扶養者健診受診	・3月、4月 実施案内の発行 ・4月～12月 被扶養者健診受診	【目的】被扶養者（被扶養配偶者（妻）を除く）の健康保持・増進 【概要】被扶養者健診の費用補助制度あり	・医療費は全体的に上昇傾向にある。 ・「生活習慣病」、「悪性腫瘍」、「精神疾患」、「歯科」関連の医療費に着目すると、何れも他健保平均を上回っている。 40歳以上の被保険者の生活習慣病に罹患するリスク分布に着目すると、2020年度と2022年度の比較では、「正常群」の比率が2.2PT増加しているが、一方で通院治療歴のある者の比率が、2.7PT増加しているため、生活習慣の改善に向けた更なる対応の必要性がある。
被扶養者健診実施案内の発行(【実績値】1回 【目標値】令和6年度：1回 令和7年度：1回 令和8年度：1回 令和9年度：1回 令和10年度：1回 令和11年度：1回)被扶養者健診実施案内の発行												被扶養者健診受診率(【実績値】40.0% 【目標値】令和6年度：40% 令和7年度：45% 令和8年度：50% 令和9年度：50% 令和10年度：50% 令和11年度：50%)2023(令和5)年度実績 40.0%								
3	既存	インフルエンザ予防接種補助	全て	男女	0～64	加入者全員	1	ス	-	シ	-		・10月 実施案内の発行	・10月 実施案内の発行	・10月 実施案内の発行	・10月 実施案内の発行	・10月 実施案内の発行	・10月 実施案内の発行	【目的】インフルエンザの予防・重症化予防 【概要】被保険者・被扶養者がインフルエンザの予防接種をした場合に費用補助。	該当なし（これまでの経緯等で実施する事業）
予防接種補助実施案内の発行(【実績値】1回 【目標値】令和6年度：1回 令和7年度：1回 令和8年度：1回 令和9年度：1回 令和10年度：1回 令和11年度：1回)-												インフルエンザ予防接種は本人意向によるものなので、アウトカム指標の設定にはなじまない。(アウトカムは設定されていません)								
4	既存	受診勧奨	全て	男女	18～74	基準該当者	1	イ,ク,ケ	-	ア,シ	-		8月～翌年3月 受診勧奨実施	8月～翌年3月 受診勧奨実施	8月～翌年3月 受診勧奨実施	8月～翌年3月 受診勧奨実施	8月～翌年3月 受診勧奨実施	8月～翌年3月 受診勧奨実施	【目的】医師への早期受診により、疾病の重症化を防ぐ。 【概要】健診結果の数値が受診勧奨基準値を超えている者に対し、疾病の重症化を予防するため医師への早期受診を促す。	・医療費は全体的に上昇傾向にある。 ・「生活習慣病」、「悪性腫瘍」、「精神疾患」、「歯科」関連の医療費に着目すると、何れも他健保平均を上回っている。 40歳以上の被保険者の生活習慣病に罹患するリスク分布に着目すると、2020年度と2022年度の比較では、「正常群」の比率が2.2PT増加しているが、一方で通院治療歴のある者の比率が、2.7PT増加しているため、生活習慣の改善に向けた更なる対応の必要性がある。
受診勧奨実施案内の発行(【実績値】1回 【目標値】令和6年度：1回 令和7年度：1回 令和8年度：1回 令和9年度：1回 令和10年度：1回 令和11年度：1回) ・受診勧奨実施のご案内												医療機関への受診率(【実績値】14.6% 【目標値】令和6年度：20% 令和7年度：25% 令和8年度：25% 令和9年度：25% 令和10年度：25% 令和11年度：25%)三大生活習慣病の要因である、血圧、血糖、脂質に着目した医療機関への受診率。 2023(令和5)年度実績 14.6%								
個別面談等による受診勧奨(【実績値】100% 【目標値】令和6年度：100% 令和7年度：100% 令和8年度：100% 令和9年度：100% 令和10年度：100% 令和11年度：100%)個別面談、メール、電話により保健師から対象者への受診勧奨を行う。 2023(令和5)年度実績 100%																				
5	既存	禁煙治療費補助	全て	男女	20～74	被保険者、任意継続者	1	ス	-	シ	-		4月～翌年2月 申込、禁煙実施期間	4月～翌年2月 申込、禁煙実施期間	4月～翌年2月 申込、禁煙実施期間	4月～翌年2月 申込、禁煙実施期間	4月～翌年2月 申込、禁煙実施期間	4月～翌年2月 申込、禁煙実施期間	【概要】禁煙外来治療を受診し、医療機関から「禁煙外来治療終了証明」の交付を受けた方を対象に補助金を支給。補助金上限額 1人につき10,000円（1回限り）	・医療費は全体的に上昇傾向にある。 ・「生活習慣病」、「悪性腫瘍」、「精神疾患」、「歯科」関連の医療費に着目すると、何れも他健保平均を上回っている。

予算科目	注1) 事業分類	新規既存	事業名	対象者				注2) 実施主体	注3) プロセス分類	実施方法	注4) ストラクチャー分類	実施体制	予算額(千円)					事業目標	健康課題との関連	
				対象事業所	性別	年齢	対象者						実施計画							
													令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度			令和11年度
アウトプット指標												アウトカム指標								
実施案内の発行(【実績値】0回 【目標値】令和6年度：1回 令和7年度：1回 令和8年度：1回 令和9年度：1回 令和10年度：1回 令和11年度：1回)-												本人の自主的な禁煙活動のサポートを目的とするものであり、アウトカム指標設定にはなじまない。(アウトカムは設定されていません)								
6	既存	健康相談アプリ クリントラルサービス	全て	男女	18～74	加入者全員	1	エ	-	ウ	-	141	-	-	-	-	-	【目的】スマートフォンの健康相談アプリ「クリントラル」で、気軽に健康相談や医師紹介サービスが利用できる。 【概要】問診Chatbot（自動問診Chatbotが24時間365日対応）、健康相談チャット（健康の相談や悩みに看護師が対応）、医師紹介サービス（病状にあった適切な医師を紹介）等のサービスを提供	該当なし（これまでの経緯等で実施する事業）	
実施通知の発行(【実績値】1回 【目標値】令和6年度：1回 令和7年度：1回 令和8年度：1回 令和9年度：1回 令和10年度：1回 令和11年度：1回)-												健康について困った時や悩んでいる場合に、加入者の自由な意思で参加してもらう事業であり、達成率等の数値管理に馴染まないため。(アウトカムは設定されていません)								
体育奨励	5	既存	体育奨励	全て	男女	18～74	被保険者	3	ス	-	ア	-	100	-	-	-	-	【目的】健康の維持・増進 【概要】実施したスポーツ行事について補助を行う。	該当なし（これまでの経緯等で実施する事業）	
													通年	通年	通年	通年	通年			通年
体育奨励通知発行(【実績値】1回 【目標値】令和6年度：1回 令和7年度：1回 令和8年度：1回 令和9年度：1回 令和10年度：1回 令和11年度：1回)-												自主的な運動・スポーツ活動のサポートを目的とするものであり、アウトカム指標設定にはなじまない。(アウトカムは設定されていません)								

注1) 1. 職場環境の整備 2. 加入者への意識づけ 3. 健康診査 4. 保健指導・受診勧奨 5. 健康教育 6. 健康相談 7. 後発医薬品の使用促進 8. その他の事業

注2) 1. 健保組合 2. 事業主が主体で保健事業の一部としても活用 3. 健保組合と事業主との共同事業

注3) ア. 加入者等へのインセンティブを付与 イ. 受診状況の確認（要医療者・要精密検査者の医療機関受診状況） ウ. 受診状況の確認（がん検診・歯科健診の受診状況） エ. ICTの活用 オ. 専門職による健診結果の説明 カ. 他の保険者と共同で集計データを持ち寄って分析を実施 キ. 定量的な効果検証の実施

ク. 対象者の抽出（優先順位づけ、事業所の選定など） ケ. 参加の促進（選択制、事業主の協力、参加状況のモニタリング、環境整備） コ. 健診当日の面談実施・健診受診の動線活用 サ. 就業時間内も実施可（事業主と合意） シ. 保険者以外が実施したがん検診のデータを活用 ス. その他

注4) ア. 事業主との連携体制の構築 イ. 産業医または産業保健師との連携体制の構築 ウ. 外部委託先の専門職との連携体制の構築 エ. 他の保険者との健診データの連携体制の構築 オ. 自治体との連携体制の構築 カ. 医療機関・健診機関との連携体制の構築 キ. 保険者協議会との連携体制の構築 ク. その他の団体との連携体制の構築
ケ. 保険者内の専門職の活用（共同設置保健師等を含む） コ. 運営マニュアルの整備（業務フローの整理） サ. 人材確保・教育（ケースカンファレンス／ライブラリーの設置） シ. その他